

京都大学 グローバルCOEプログラム

アジア・メガシティの人間安全保障工学拠点

Global Center for Education and Research on
Human Security Engineering for Asian Megacities

実施期間：平成20年9月～平成25年3月



大学院工学研究科

都市環境工学専攻
都市社会工学専攻
社会基盤工学専攻
建築学専攻

大学院地球環境学堂・学舎

地球環境学専攻
環境マネジメント専攻

防災研究所

アジア・メガシティの人間安全保障危機

- 都市域での人口爆発
 - アジア・メガシティにおける様々な脅威
 - ベーシック・ヒューマン・ニーズの未充足
 - 環境汚染の増大
 - 災害リスクの増加
 - これらの脅威に対する個々人及びコミュニティ・レベルでの自立的対応能力の欠如
- 技術, 制度, 運営・管理, ガバナンス及びそれらを体系的にマネジメントする学理体系と人材整備の大きな遅れ

都市管理戦略や都市政策策定などの次元を含む総合的な学問に基づいた教育・研究を推進する必要

人間安全保障工学とは？

人々を日常の不衛生・災害・貧困などの脅威から解放し, 各人の持つ豊かな可能性を保障するための工学

主な特徴

- 徹底した現場主義と適正な地域固有性の取り込み
- 技術, 都市経営管理, 制度づくりの共進化
- 多様なアクターが主体となる構造の内包化

人間安全保障工学は以下の4つの分野から構成される問題解決型工学



目的

京都大学において、これまで蓄積してきた土木工学、建築学、環境学、防災学の総力と海外拠点群をベースに、「都市の人間安全保障工学教育ユニット」を構築する。

年間20名の次世代研究者及び高度な実務者の育成と、メガシティにおける人間安全保障の確保をアジア規模で行う。

内容

海外拠点の整備

海外活動拠点（事務所開設・特任教員常駐）を深圳とハノイに整備する。また、海外教育研究機関へも研究支援を行う。

教育プログラム「都市の人間安全保障工学ユニット」の開設

分野と部局を超えた連携大学院教育（定員20名、内半数強は留学生及びアジア・メガシティ実務者）。現地集中講義とe-Learningによる海外拠点での単位履修システムを提供。

徹底した現場主義と国際的に活躍できる人材育成

若手研究者・博士課程学生海外派遣・招聘（期間数ヶ月～1年）、学生長期インターンシップ、実務者の社会人入学やリカレント教育を推進。

現場に立脚した重点共同研究プロジェクトの実施

ステークホルダーとの徹底した対話、地域固有性の積極的取り組み、地域・発展段階に適した技術・管理システムの体系化、研究費の若手研究者・博士課程学生への重点的配分。

充実した経済的支援（数字は申請値）

提案プロジェクトに基づく競争的研究支援：50万円～300万円/年。競争的RA採用：研究業績に応じ8～20万円/月。若手研究者の自立支援としてGCOE特任教員数名の採用、GCOE研究員(PD)の採用。

国際的情報発信

多数の国際シンポジウム・国際セミナーの主催。

都市の人間安全保障工学教育・研究センターの設置

多数の海外拠点・海外研究機関・国際機関との連携、学生のサポートなどプログラムのハブ的役割。

緊密な国際研究・教育ネットワークの構築

都市の人間安全保障工学教育・研究センター

新学問体系「都市の人間安全保障工学」構築プロジェクト
-重点共同研究プロジェクト
-英文テキストシリーズ編集

教育プログラム「都市の人間安全保障工学ユニット」

海外活動拠点の整備と強化



海外での野外調査。

本プログラムへの参加

博士課程学生として

このプログラムではアジア・メガシティの人間安全保障に関する世界最高水準の実践的かつユニークな教育・研究プロジェクトを通じて、次世代の研究者、高度実務者を育成します。また、学生生活を経済的にサポートする奨学金などの制度も充実しています。

入学試験

年間20人(日本人学生とアジア諸国留学生の比=2:3)の学生を受け入れます。このプログラムに参加するためには、都市人間安全保障工学ユニットを構成する部局・専攻(工学研究科都市環境工学専攻, 社会基盤工学専攻, 都市社会工学専攻, 建築学専攻, または地球環境学堂・学舎)の通常の博士後期課程入学試験を受験し、本教育ユニット委員会が実施する選考試験に合格する必要があります。選考試験では、入学後に実施する現場主義にもとづく人間安全保障工学に関する研究プロジェクトを提案します。また、各部局・専攻には社会人学生向けの試験制度も用意されています。

典型的な履修プラン

第1学年:基礎知識・技法の修得

第2学年:中・長期インターンシップ実施

第3学年:学位論文執筆

卒業後の進路

外国人学生:大学等各種研究機関の研究者, 母国の都市管理行政を担う高度実務者

日本人学生:大学等各種研究機関の研究者, 国際機関等で働く高度実務者

特別研究員(PD)として

特別研究員を募集予定です。関連分野の優れた若手研究者の応募をお待ちしています。詳しくは、近日開設予定のウェブサイトをご覧ください。

連携機関、企業として

このプログラムでは、アジアの人間安全保障にかかわる問題に実践的にアプローチします。そのため、実際の問題に直面している関連機関・企業との緊密な連携が必要不可欠です。連携機関・企業として参加いただくと、共同プロジェクトに対する資金援助、本プログラムの最新の成果の利用、人的交流など、様々な面でアジアの人間安全保障問題に対する新しいアプローチが可能になります。

問い合わせ先

都市の人間安全保障工学教育・研究センター準備室

〒615-8540 京都市西京区京都大学桂C1

E-mail: human-security-eng@env.kyoto-u.ac.jp

Tel. 075-383-3355, Fax. 075-383-3358

<http://www.env.kyoto-u.ac.jp/human-security-eng.htm>

大学院工学研究科

都市環境工学専攻: <http://www.uee.kyoto-u.ac.jp>

社会基盤工学専攻: <http://www.ce.t.kyoto-u.ac.jp>

都市社会工学専攻: <http://www.um.t.kyoto-u.ac.jp>

建築学専攻: <http://www.ar.t.kyoto-u.ac.jp>

地球環境学堂・学舎: <http://www.ges.kyoto-u.ac.jp>

防災研究所: <http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp>

